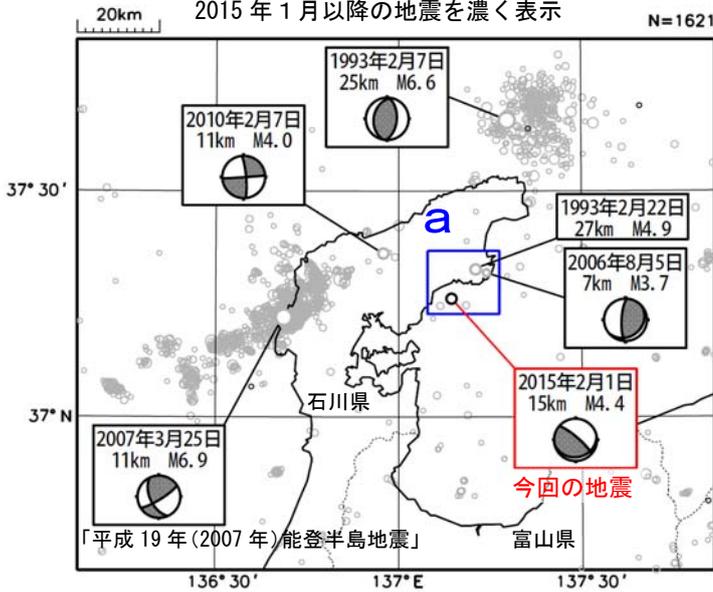


2月1日 富山湾の地震

情報発表に用いた震央地名は〔石川県能登地方〕である。

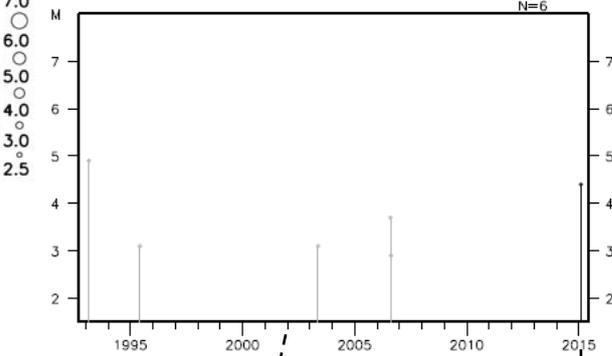
震央分布図
(1993年1月1日～2015年2月3日、
深さ0～30km、 $M \geq 2.5$)
2015年1月以降の地震を濃く表示



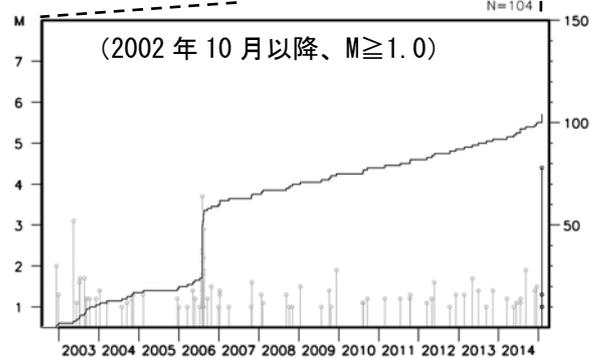
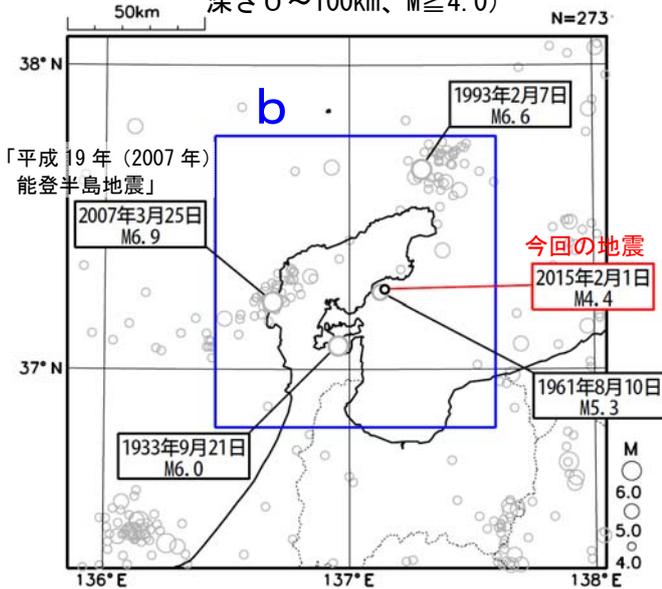
2015年2月1日00時42分に富山湾の深さ15kmでM4.4の地震(最大震度4)が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は北北東-南南西方向に圧力軸を持つ型である。

1993年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)は、1993年2月22日にM4.9の地震(最大震度3)が発生したほかはM4.0を超える地震は発生しておらず、地震活動の低調な領域である。なお、小規模ではあるが、2006年8月5日にM3.7の地震(最大震度3)が発生し、その後下旬にかけてやや活発な地震活動がみられた。

領域a内のM-T図及び回数積算図



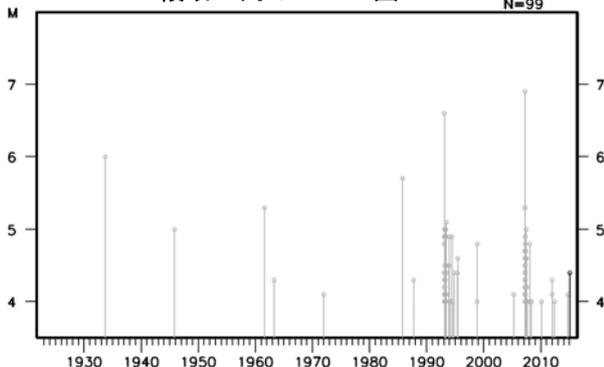
震央分布図
(1923年1月1日～2015年2月1日、
深さ0～100km、 $M \geq 4.0$)



1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、1933年9月21日に発生したM6.0の地震(最大震度4)により、死者3人、負傷者57人、家屋倒壊2棟などの被害を生じた(「日本被害地震総覧」による)。

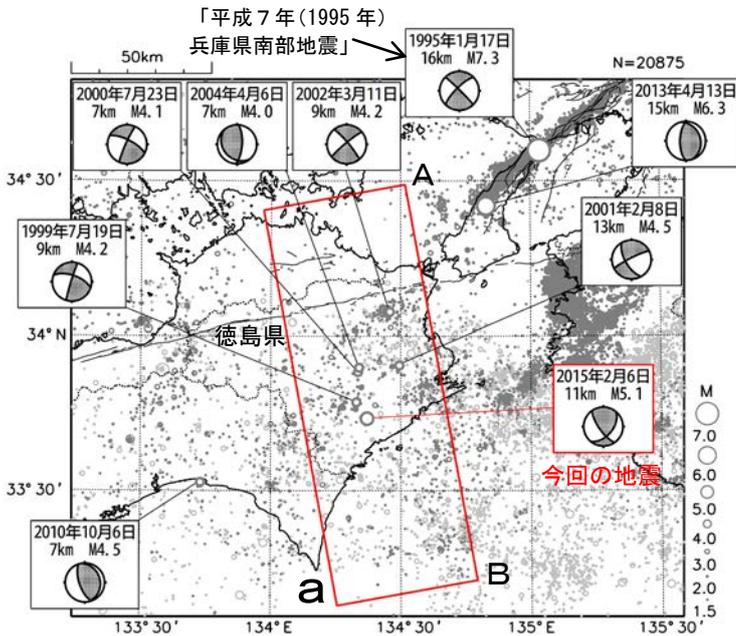
また、「平成19年(2007年)能登半島地震」(M6.9、最大震度6強)が発生し、死者1人、重軽傷者356人、住家全半壊2,426棟などの被害を生じた(総務省消防庁による)ほか、石川県珠洲市で22cmの津波を観測した。

領域b内のM-T図



2月6日 徳島県南部の地震

震央分布図
(1995年1月1日～2015年2月9日03時、
深さ0～60km、 $M \geq 1.5$)
20km以浅の地震を濃く表示

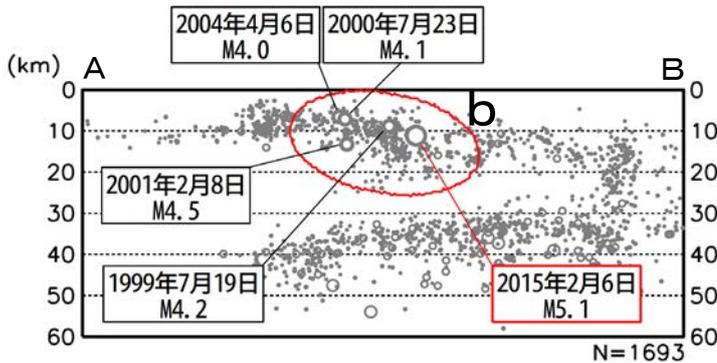


2014年2月6日10時25分に徳島県南部の深さ11kmでM5.1の地震(最大震度5強)が発生した。この地震は、地殻内で発生した。発震機構は東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。余震活動は低調であり、9日11時現在、震度1以上を観測する余震は発生していない。

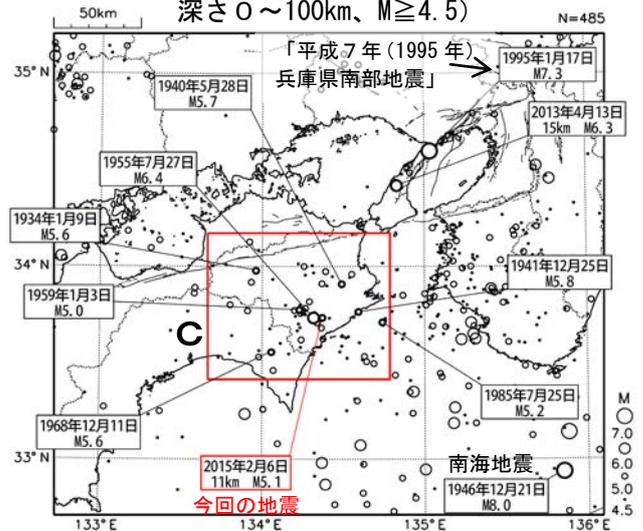
1995年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)は、M3.0以上の地震は1年～数年に1回発生している程度で、地震活動の低調な地域である。2001年2月8日にM4.5の地震(最大震度4)が発生しているが、M5.0以上の地震は発生していなかった。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1955年7月27日にM6.4の地震が発生している。この地震により死者1人、負傷者8人等の被害が生じた(日本被害地震総覧による)。

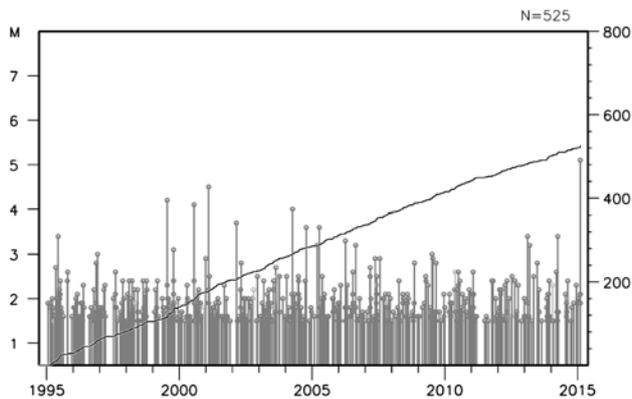
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



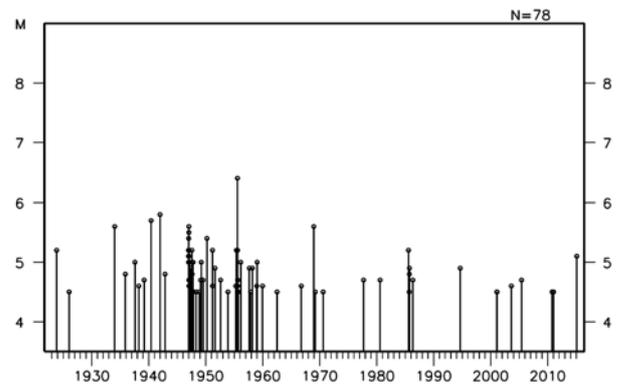
震央分布図
(1923年1月1日～2015年2月9日03時、
深さ0～100km、 $M \geq 4.5$)



領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 c 内の M-T 図



細線は地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す